

友好都市提携30周年

呼和浩特市 呼和浩特

中国内蒙古自治区呼和浩特市と友好都市を提携し、今年で30周年を迎えます。4月には、呼和浩特市副市长を団長とする21人の使節団が来岡され、家康行列にも参加いただきました。その折に記念品として寄贈いただいた、日中共通の縁起物である龍の置き物は、現

在、東庁舎3階受付案内横に展示してありますので、ご覧いただければと思います。

これまでの30年を振り返ってみると、市内中学生のホームステイによる相互訪問や卓球、バスケットボール、バレーボールの親善試合のほか、児童絵画・書道展など子どもたちによる多様な交流を進めてきました。

更に、砂漠化が進む草原での「市民友好の翼」訪問団による植林活動など、これまで480人を超える多くの市民の皆さんが様々な形で呼和浩特市を訪れ、市民レベルでの友好交流が続けています。この7月には、本市からも使節団を派遣し、市民間の交流を一層深めてまいります。

今後も教育、文化、スポーツ、産業など多彩な交流を通し、市民の相互理解と友情を培っていきます。



岡崎市長
内田 康宏

夢ある新しい
おかざき
Dream Okazaki

